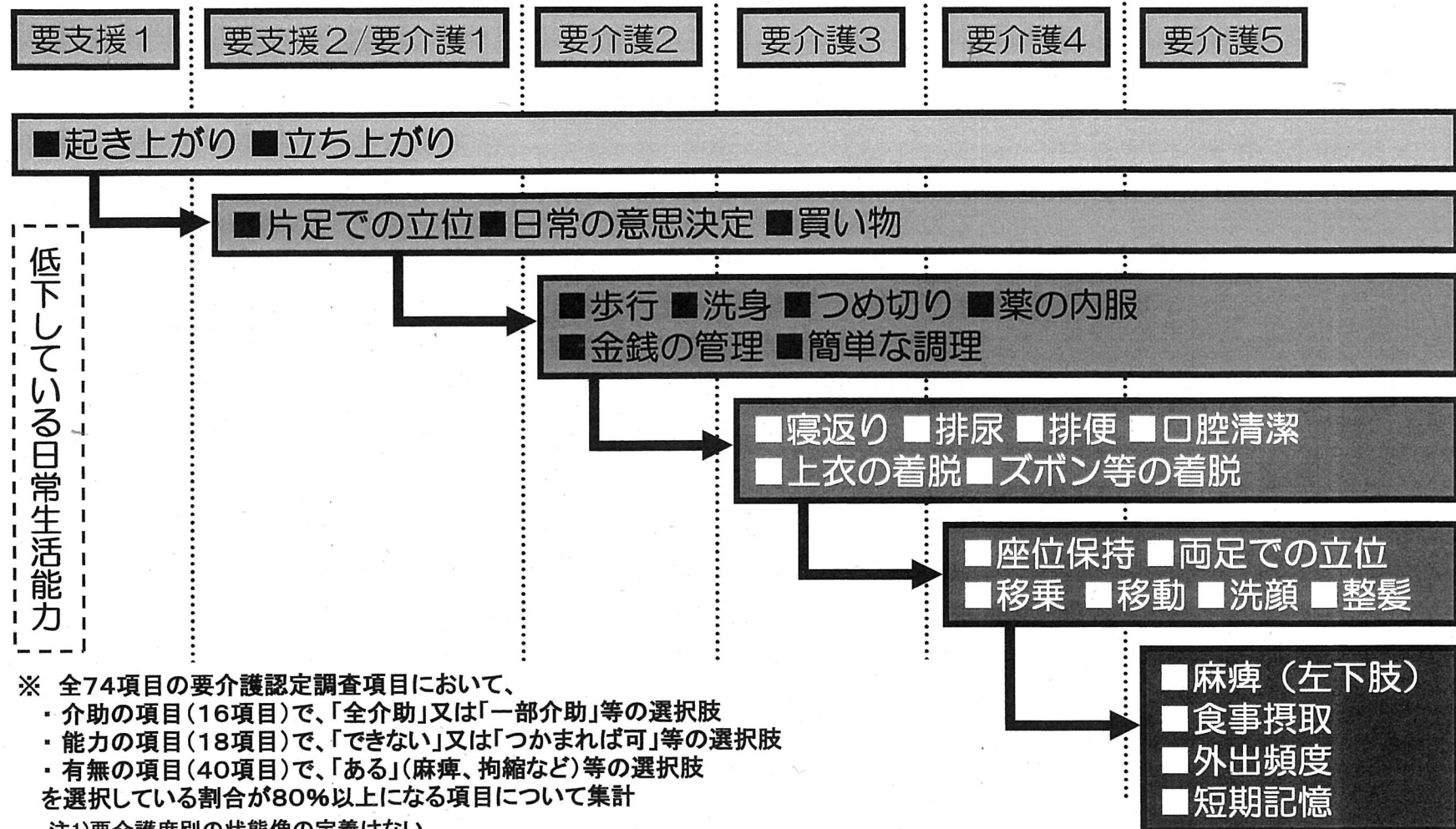


要介護状態区分別の状態像

(80%以上の割合で何らかの低下が見られる日常生活能力(※))



※ 全74項目の要介護認定調査項目において、
・ 介助の項目(16項目)で、「全介助」又は「一部介助」等の選択肢
・ 能力の項目(18項目)で、「できない」又は「つかまれば可」等の選択肢
・ 有無の項目(40項目)で、「ある」(麻痺、拘縮など)等の選択肢
を選択している割合が80%以上になる項目について集計

注1)要介護度別の状態像の定義はない。

注2) 市町村から国(介護保険総合データベース)に送信されている平成26年度の要介護認定情報に基づき
集計(平成28年2月15日時点)

注3)要介護状態区分は二次判定結果に基づき集計

注4)74の各調査項目の選択肢のうち何らかの低下(「全介助」、「一部介助」等)があるものについて集計

出典：厚生労働省

「要介護認定の仕組みと手順」より